

ゆい ちゅうぶ

救急対応

健康あるある
薬のお話

2015

11
vol.40

9月5日土曜日、院内において災害訓練を実施しました。災害拠点病院として訓練を行うにあたり、地域の方々にも協力してもらいました。

【催し物のご案内】.....

「1月開催予定」

平成28年第13回県立中部病院・地域医療機関新春懇談会
日時: 平成28年1月21日(木曜日)午後7時~9時
場所: ヒルトン沖縄北谷リゾート(予定)

「ゆんたく会のご案内(がん患者さんとご家族のための)」

第72回 2015年 11月26日(木) 午後2時~午後4時 第3会議室
第73回 2015年 12月24日(木) 午後2時~午後4時 第3会議室



集団災害対応訓練

[地域連携室便り]
ぱっっちゃりナースの
[スリム化プロジェクト]



集団災害対応訓練

災害訓練にご協力いただきました中部地区消防本部、県立北部病院、ぐしかわ看護専門学校のみなさま誠に感謝申し上げます。



文:豊里尚己

去る9月5日(土)に集団災害訓練を実施しました。時間外に本島直下型で震度6弱の地震と津波がおき、多数傷病者が発生したという想定で、一階救急センターと外来フロアを利用して訓練を行いました。

災害時の診療は日常のものとは異なり、一度に非常に多くの患者が受診します。その中にはあらゆる年齢の重症から軽症、さらには避難民も含まれる可能性もあります。多数の傷病者に対応する医療従事者の絶対的不足、また医療資材、薬剤の不足など通常診療の需要と供給のバランスが大きく崩れてしまします。ほか病院内の電気、水道、ガス、建物などインフラに問題があった場合は混乱に拍車が掛かります。

このような災害発生時に我々一人一人はどう動けばいいのか。時間外発災時は管理者が院内に不在なため、誰が全体を指揮し、必要な情報をまとめ、現場をコントロールすればいいのか。“災害医療の流れ”を初動と各セクションの運営を考えながら訓練を行いました。

午前11時の発災のコールが院内放送で告げられると、医師、事務職員は救急センター前に集合、病棟看護師は各ナースステーションに集合し、係りを割り振ります。各セクションのリーダーには「災害対応アクションカード(※1)」が配布され、カードに記載された内容を実践していきます



A)多数傷病者受け入れ訓練

現場では以下のエリアを設置して被災患者の対応にあたります。

1.トリアージエリア…多数の来院被災患者を受け、短時間(数十秒)で重症度・緊急性を判断し、各診療エリアへ患者を移送する。

2.重症(赤)エリア…
最優先で処置が必要な重症・緊急性の高い患者を受ける役目。医師・看護師動員数も最も多く、また、検査科、放射線科、手術室、アンギオ室やICUとの迅速な連携が必要なエリアである。



3.中等症(黄)エリア…全身状態は安定しているが歩行ができない、あるいは災害弱者(高齢者、小児、妊婦さん、外国人など)を受けるエリア。



1.守衛室(仮本部)へ向かえ!

役割の確認

A.C.をいただく

2.診療を統括せよ

自分が災害初療統括であることを示す。

役割分担を行え

トリアージ:救急スタッフ+看護師+事務

赤・黄:外科当直医師+EC看護師+応援看護師+事務

緑・内科当直医師+EC看護師+応援看護師+事務

EC内の被害状況を調べるようリーダー看護師へ指示

EC全体の状況が把握できたら管理当直へ報告。

3.ゾーニングを指示せよ!

トリアージステーション:EC入り口付近

赤エリア:EC初療+EC入院室(Aチーム)

黄エリア:EC入院室(Bチーム側)

緑エリア:外来待合室

4.情報手段を確立せよ(PHS、伝令)

5.病棟、OR、放射線科、監査料、薬局、ICUと連携せよ

6.応援者を適切に配置せよ

7.次の担当救急スタッフへ引継ぎし、任務終了

4.軽症(緑)エリア…意志疎通、歩行も可能で緊急性はないが簡単な応急処置が必要な被災者を受けるエリア。



5.黒エリア…心肺停止状態の傷病者を収容するエリア

B)災害対策本部訓練

発災から數十分経過後、駆けつけた管理者、応援職員で対策本部を設置し、各エリア、病棟、院内インフラ、病院周辺の情報(交通、他病院の情報、県からの情報)などを入手し、時期に見合った最良の方法を考え、現場を指揮しコントロールしていく役目。

訓練は約3時間にもおよびました。訓練を通じて多くの改善点や反省点もありましたが、参加者は非日常診療を体験することで“災害医療”がどういうものかを考えるきっかけとなりました。「災害は忘れた頃にやってくる」

皆さん、常日頃からその備えもしっかり考えていくましょう。

地域連携室便り

201511号

り地域の医療機関での治療継続を勧められた患者様のご相談を受けておりま
す。

「どこの診療所へ行つたらいいかわからない」「私の病気は診てもらえるのだろうか?」など様々な不安や疑問のある患者様が安心して「かかりつけ医を受診できるよう一緒に相談の上、地域の医療機関へご紹介しています。皆さまが最適・最善な医療を受けられるよう患者様・地域の医療機関との連携をより強化して参りたいと思います。

今回は当院地域医療連携室の逆紹介担当についてお話ししたいと思います。まず始めに皆さま、「かかりつけ医」という言葉を耳にしたことがあります

「かかりつけ医」とは日常的な診療や健康管理等を行ってくれる身近な地域のお医者さんのことです。

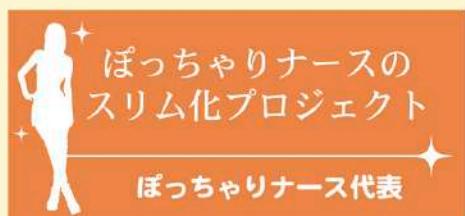
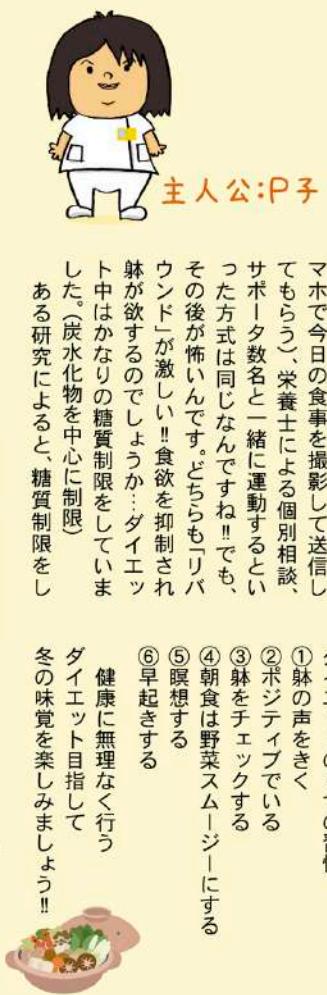
そのため、当院の治療で病状が安定した患者様を「紹介頂いた「かかりつけ医」へ治療の継続や普段の健康管理をお願いする「逆紹介」を行っています。

なお、逆紹介した後も定期的な検査などは「かかりつけ医」より再度紹介して頂き、受診できる体制を整えていきますので、「安心ください。」

もちろん、患者様の容態によって「かかりつけ医」が当院での治療が必要と判断した場合も受診して頂けます。



逆紹介担当:前川(左)、田沼(右)



ダイエットに最適な季節??

ダイエツトに最適な季節？？

たダイエットは、結果が2カ月早く効果が出るのですが、糖質制限しな

くとも、食事のバランスを整えるだけではなく、月後は同様にダイエットの効果があると報告されています。いずれにせよ、長続きできないダイエットは、リバウンドが怖いということです。

でも、リバウンドは自分自身で作り出しているんですね。「食べ過ぎ」ときちんと理解できるよう、食事のバランスを整えないことには、ダイエットの成功はないということです。いつまでも、「腹八分だけど、甘いものは元を取るくらい食べるぞ!!」では、いけないんですね。

薬のお話

健康 あるある

救急対応



さて、今回は薬に関するお話です。皆さんは今ご自分が飲んでいるお薬の名前とその効果についてどこまで覚えておられますか？新しい薬を処方するにも、「今飲んでいる薬が何であるか」がわからないと、それができない場合があります。とはいっても、自分が飲んでいた薬をすべて記憶するのは難しいもの。それを助けるために「お薬手帳」というものがあります。かかりつけ医や救急病院にかかわらず、どの医療機関を受診するにも、この

お薬手帳を健康保険証とともに持参しましょう。お薬手帳にはもう一つ、いいことがあります。薬の情報だけではなく、薬の内容から、いま治療中の病気についてもある程度推測することが可能になります。

我々医師にとって、①これまでの病気②今飲んでいる薬③最近の血液検査結果（検診などの情報がわかると診療を行う上）でとても役に立ちます。沖縄県では「沖縄津梁ネットワーク」という情報共有のためのネットワークを医師会が中心になって構築中です。患者さんがネットワークに入ると、希望されれば先ほどの①、③のデータを各医療機関で閲覧することができます。沖縄県では、このネットワークが広まつても、お薬手帳は自己管理のために必要ですからね。

これまででは、薬の管理、検査データなどの情報管理などはもっぱら特定の医療機関に委ねられていました。これからは、利用されるみなさんが自分の情報をできるだけ関心を持つつ、しかし過度な不安はもたず、ともにいい医療ができるべきだと思います。

読谷村診療所
多鹿昌幸

観月の夕べ



10月3日、秋風が心地よい名月の夜、毎年恒例の県立中部病院互助会・赤道通り会主催「第12回観月の夕べ」が開催されました。通り会の出店がぎりぎりと揃う中、特設舞台では、様々な催しが行なわれました。オープニングには、ゲストのリリックノートさんによるバンド演奏・おひさま保育園園児によるエイサーの演舞で華やかな幕開けとなり、盛大な催しとなりました。



「ちゅうぶshow」では中部病院ならではの取り組みをこっそり紹介します。



宮古歳時記

県立病院・リレー連載

沖縄県立宮古病院 看護師 栗国輝行

ここ宮古島も朝晩はようやく涼しくなってきました。宮古島の秋の行事といえば、やはりバーナーでどうですか。ご存知の方も多いかと思いますが、全身に泥を塗りたくったバーナーが道行く人に泥を塗りつけ無病息災を祈願するという行事です。年3回（旧暦3月末から4月初旬、旧暦5月末から6月初旬、旧暦9月吉日）に行われる行事です。私はまだ未体験ですが、バーナーの塗りつける泥が「どぶ」の様な異臭を放つらしく、洗い流しても簡単には落ちないとか。私は未だ迷っているところですが、勇気のあるかたはぜひお試しください。

また、今年開通した伊良部大橋（通行料を取らない橋としては日本最長）は観光客の新たな観光スポットとなりつつあります。晴天日は絶景です。来られる際は足を運ぶことをお勧めします。



沖縄県立中部病院へのお問合せ

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281

TEL: 098-973-4111(代)

FAX:[代表]

098-973-2703

[地域連携室]

098-982-6568

沖縄県立中部病院

検索



ホームページ <http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/>